



シニアの学び舎

レイカディア大学だより 彦根キャンパス

第 31 号
2026. 4. 15

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

第 48 期学生募集活動スタート

「1・3・1・70(イチサンイチナナマル)運動」。これは、令和3年の第43期学生募集活動にあたってのスローガンで、1人が3人に声掛けし、そのうちの1人が入学を検討するようにし、定員70人以上の応募者が出るようにしようという活動方針です。

今期の学生募集プロジェクトは、第47期の応募者数の減少結果を考慮し、第42期から大幅に応募者が増えた第43期の活動実績を踏襲することとし、再度このスローガンを掲げることになりました。同窓会やえにしの会、そして在学生の皆さんにもご協力をいただき、皆さん個人の持つ色々なコミュニティツールのネットワークにより、レイカディア大学の魅力を多方面にアピールしていただければと思っています。近年は、多くの方がホームページなどSNSを用いた情報により入学を検討するようになりましたが、それでもそのきっかけは、友人知人からの口コミによるところが多いとお聞きしています。

いよいよ今年も第48期の学生募集活動が本格的にスタートしましたが、6月1日(月)から7月31日(金)までの入学願書受付期間に多くの応募者が集まりますよう様々な行事を通じて活動をしていきたいと思っています。また何より大切なのは、この活動が楽しく、より仲間意識を高められるようなものにする事で、みんながワイワイ言いながら活動できればと思っています。
(学生募集PJL 寺田 修)



レイカディア大学彦根キャンパス 第 13 期サポートの会 代表 小林隆典

4月に入り、サポートの会13期になってから半年が経過しました。会の目的である在学生のサポートが十分であったとは言えませんが、上期に開催された各学科部会やプロジェクトによる交流行事を通じて在学生と卒業生との交流が深まり、サポートの会というものの存在や役割が少しご理解頂けたのではないかと思います。これらの行事の開催にご尽力頂きました皆様へ感謝申し上げます。

13期の立ち上げ時に目標として掲げた、サポートの会の運営に係わる情報を出来るだけ会の皆様へ共有して頂きたいということと、活動に際して負担を減らしたいと

言う点については現在鋭意推進中です。今後も会員の皆様のご協力をお願い致します。

4月から48期生の学生募集活動が本格的にスタートします。レイカディア大学のことを1人でも多くの方に知って頂き、仲間となって頂けるように活動を進めていきたいと思っています。会員の皆様、在学生の皆様また大学事務局、同窓会、えにしの会の皆様には一層のご協力を心よりお願い申し上げます。



彦根キャンパス在学生の学生生活

園芸学科 【授業見学報告】

◆ 新しいテーマの選択授業

現在1年生の47期園芸学科の選択授業で、何を学ばれているのか、学生さんはどんな様子か、二つの授業を午前中見学したので報告します。

二つとも、私が園芸学科に在籍していた時にはなかったテーマでした。



一つ目は、2月17日に行われた、松原治夫先生による「観葉植物の管理、増やし方、挿し木」の講義です。授業の最初に、先生が家で育てられた菊芋の酢漬けの紹介

などがあり、ゆったりとした雰囲気が始まりました。観葉植物についてどんな効用があるのか問いかけながら進められ、リラックス効果、癒し効果、子育ての感覚での成長の喜びなどがあげられていました。次に観葉植物に使う土の種類や増やし方など、多くのことを話されました。皆さん質問もしながら熱心に聴いておられました。私も興味深く聴くことができました。

二つ目は、2月27日に行われた、タキイ研究農場顧問の畠中誠先生による「野菜を知る～種類や原産国から育てるコツ～」の講義です。農学の一分野である蔬菜（そさい）

園芸学に基づく野菜の講義でした。

午前中は、ウリ科野菜のキュウリからお話されました。最初に、原産国を問う



【47期の実習風景です】

クイズを出題されました。諸説あるとのことですが、ネパールが答えでした。日本へは中国を経由して入ってきたそうです。キュウリは日本の野菜と思っていたので、新しく知識を増やせたので得した気分でした。外国のキュウリについても話され、日本の野菜のおいしさを話されました。

原産国の後は、生育適温や産地情報・出荷量・栽培方法など多岐にわたって説明され、学生のみなさんも、真剣に講義に耳を傾けられていました。キュウリの後は、メロンとスイカについて同様の話をされました。

北近江文化学科 【在校生にインタビュー】

◆ 46期北近江文化学科 辻川淳一さん

出身地は甲良町で龍谷大学の事務職として勤務しておられました。レイカディア大学を志望された動機は、歴史に興味があり、お住いの甲良町には14世紀に婆娑羅(バサラ)大名で有名な「佐々木道誉」、17世紀に城づくりで名を上げた「藤堂高虎」、「日光東照宮陽明門等」を造営した大工棟梁「甲良豊後守宗広」の歴史上の人物に関する施設史跡、また郷土の「横関三河守正資」と「薬師観音立像」との関係など「歴史を探求」したいと考え北近江文化学科に入学されたそうです。辻川さんの郷土の歴史に対する熱い思いが伝わってきました。



入学されてから興味のある科目は、中井先生の城郭探訪、太田先生の近江の北国街道等、松井先生の古地図と鳥瞰図、山本先生の織田信長と近江の武将だそうです。校外学習での八幡山からの眺めは特に印象



【中井均先生の小谷城跡見学】

に残っているようです。また在職中の仕事の関係で、中井先生や太田先生とは面識があり講義に親しみを



【松井先生の八幡山城跡見学】

感じられた様子でした。



【山本先生の八幡街道見学】

これから始まる課題学習には、5名のメンバーで「近江商人」のテーマで取り組みされるので、出来上がりが期待されます。私たちも課題学習を進める中でお互いにメンバーの絆がより深まったと感じたものです。

最後にレイカディア大学に入学して良かったと思うことを、お聞きしました。やはり我々が実感したことと同様に、年齢も経歴も違う個性豊かなメンバーの集まりは、知識の宝庫で今までに経験したことのない刺激があり、学生生活が大変楽しいとのことでした。

今後の辻川さんのご精進を祈念してインタビューを締めくくります。



【谷口先生の荒神山古墳見学】

健康づくり学科【選択講座の授業風景】

46期生健康と運動 2月13日(金)講師 多胡陽介先生
◆ 講義タイトル「運動とメンタルヘルス」「運動と心拍数」
【語り合い、学び、つながる健康づくり】

午前最初は四名ずつのグループに分かれ、日頃感じているストレスについて意見交換が行われました。親の



介護や自身の健康不安など率直な思いが語られる一方で、「仲間のおしゃべりが何よりの解消法」との声が多く、語り合うことの大切

さを改めて感じました。

続く実技授業では、運動強度を体感的に学ぶプログラムが行われました。軽い歩行・早歩き・軽いジョギングを

それぞれ三分間ずつ実施し、その都度心拍数を測定します。数値の変化を確認しながら、主観的運動強度を示すボルグスケールと照らし合わせ、体感と客観的指標の両面から理解を深めました。さらに、(220-年齢)で求めた推定最大心拍数を基に、60~70%を目安としたターゲット



心拍数を計算。安全かつ効果的な運動強度を自ら把握する方法を学びました。理論と実践が結びつき、参加者の表情にも確かな手応えが感じられました。



この日はバレンタインデー前日でもあり、心のこもったチョコレートが配られる和やかなひとときもありました。昼休みには編み物教室で帽子づくりが行われ、互いに教え合いながら談笑する姿が見られました。学びと

交流、そして趣味の時間が自然に調和する光景は、本校ならではの魅力といえましょう。

取材を通して痛感したのは、本校に通う意義の深さです。登校に際して服装や身だしなみに心を配り、人と向き合う準備を整えることが生活に張りをもた

たっています。趣味や人生経験を語り合う時間は新たな刺激となり、心身の活力へとつながっています。学校とは知識を得る場であると同時に、人と出会い、自らを高め続ける尊い場であると実感いたしました。



彦根キャンパス 事務局だより

レイカディア大学の学びと学生生活の充実は、サポートの会の皆さまの日頃の温かいご支援に支えられています。授業や大学祭をはじめとした行事などの学生サポートはもちろん、学生募集に関しても多大なお力添えをいただき、深く感謝申し上げます。



【ベース友活風景】

あわせて、現在は彦根を中心に実施している「ともいきプラットフォーム」について紹介します。

学ぶ場としての「友活講座」、つながりの場としての「ベース友活」、地域活動やボランティアと、「そうした活動をしたい」、「何か地域の役に立ちたい」といった方をつなぐ仕組みとしての「ともなび(ともに生きる社会参加へのナビゲート)」の3つの場を運営しています。

レイカディア大学の運営を改めて鑑みますと、皆さまのお力を得て初めて実現できている取り組みが数多くあり、その存在の大きさを日々実感しております。

詳しくはホームページ(二次元バーコードを読み取りください)をご覧ください。興味関心を持たれましたら気軽に参加ください。

今後とも、レイカディア大学の趣旨をご理解いただきながら、学生とともに歩む心強いパートナーとして、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



【友活講座陶芸】



【友活講座折紙】



【ともいきプラットフォーム】

第13期サポートの会 上期活動報告

園芸学科部会

◆ 米原市の滋賀県立きゃんせの森での剪定作業

3月17日、在校生24名とサポートの会18名が参加し、北村先生の講義後、4班に分かれて低木と高木の剪定を実習しました。安全指導を受けつつ協力して作業し、次の成長を楽しみにできる学びの多い活動となりました。



北近江文化学科部会

◆ 中井先生 講演会 2月16日

滋賀県立大学名誉教授中井均先生を講師に迎え『国史跡指定20周年「境目の城 鎌刃城とは」-発掘調査から史跡指定への道のり-』と題する交流行事を開催。在校生とサポートの会会員他64名が参加、国史跡への経緯と発掘調査の成果や城の見所について知ることができました。鎌刃城跡の調査成果は、従来の軍事的防御施設としての山城の概念を覆し、城が武威と権威の象徴となったことを示す戦国時代の城郭構造の発見だったと先生は語られ、丁寧な質疑応答後大きな拍手と共に終了しました。



健康づくり学科部会

◆ ノルディックウォーキング講習会 11月21日

～ポールを使って荒神山公園外周をウォーキング～
秋晴れの中、42名の参加者が講師の指導の下にポールを使ったノルディックウォーキングに挑戦。ポールを使うメリットは、足腰の負担を軽減し、背筋が伸びた正しい姿勢になり、上半身の活動を活発化させる歩行スタイルなので通常ウォーキングより効果があります。



◆ 健康レクリエーション交流会 2月6日

～楽しく動いて健康づくり～

寒さ続く中、50名の参加者が彦根キャンパスに集合ラジオ体操から始まり、脳トレゲーム、洗濯ばさみゲーム、風船ゲーム、いずみ体操と続き、6チームに分かれ得点を競い合いました。ゲームを通じて初対面の人同士和気あいあいと健康増進と交流を図ることが出来ました。

レイカディア大学だより彦根キャンパス

2026年4月15日第31号

発行：滋賀県レイカディア大学 (☎ 0749-21-6333)
彦根キャンパス サポートの会 (広報部)

■ 彦根市大東町2-28 COZY TOWN内
(アル・プラザ彦根4階)

■ 彦根キャンパス

サポートの会ホームページ：

<https://lacamaibara.com/support/index.html>



地域活動プロジェクト

◆ 愛知川河畔林の愛林活動 12月15日

当日はあいにくの雨で予定していた竹林伐採は中止となりましたが、葉枝見橋の下を会場としたミニ門松づくりは予定通り実施できました。



参加者81名がそれぞれ作品を完成させ、持ち帰ってご家庭で楽しんでいただけたことは大きな成果でした。また、多くの在学生在が参加し、学年や学科を越えた交流が生まれたことも今回の活動の収穫です。初めての試みとなったミニ門松づくりは完成度が高く、参加者の満足度も高かったように感じています。今回の経験が来年度の参加者増につながることを期待しています。



広報部 パソコン講習会

◆ ホームページ作成講習会

12月24日(水)、2月25日(水)の2回にわたり、46期、47期の広報部員を対象にホームページ作成講習会が実施され、在學生15名、サポートの会8名が参加しました。

今回はホームページビルダーを使用しないで、WordでHPを作成する手順が説明され、各学科はトップページのひな形4種類から1つ選んでHP作成に取り組みました。2回の講習会で各学科のHPを作成・発表し、HPサーバーにアップロードを行い、無事HPが表示されるまでの確認を行いました。



◆ パワーポイント講習会 3月6日

46、47期の在學生を対象にパワーポイント作成講習会が実施されました。参加人数は在學生25名、サポートの会は7名でした。大学祭や課題学習の発表には是非パワーポイントを活用して頂き、今までとは一味違うプレゼンテーションを期待しています。



《編集後記》

4月から48期学生募集活動が始まりました。一人でも多くの方がレイカディア大学に入学されるように、この「大学だより31号」が学生募集活動の一助になれば幸いです。

イベントを取材し、多数の参加者が楽しく活動されている姿をこの紙面から発信できるように努力致しました。

また、ご多忙の中、取材や原稿執筆にご協力いただきましたサポートの会の皆様に感謝申し上げます。(T.T.)